

自分で決めた目標に挑む日本全国のチャレンジャーを応援するニューズペーパー



Challenge Cup Express

Vol.3★2012.2.1

一般社団法人日本チャレンジ教育協会



Page 2 乙女部★
岡山学芸館清秀中学校



Page 3 地球守り隊
開成中学校



Page 5 bask
桜の聖母学院中学校



Page 4 桔梗
修徳高等学校

全国からたくさんの活動報告届いています!



Page 7 ゆかいななかたち
豊橋中央高等学校



Page 6 HOTOKE
別成館高等学校



Page 8 あやな
ITTO 個別指導学院
ちはら台校

詳しくは
次の
ページ!!

チャレンジャー投稿

どどんと一気に7組紹介!!



チャレンジ紹介

乙女部☆

中学 1 年生

岡山学芸館清秀中学校（岡山県）

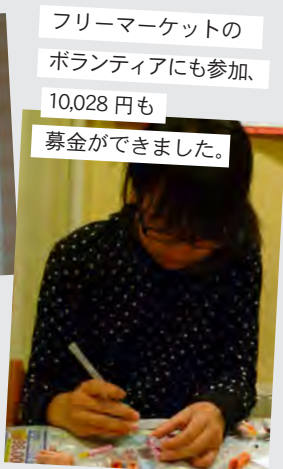
動物ボランティアを主に、学校がある日は毎朝 8 時から 1 時間ほど地域の清掃と、朝テストで全員で 5 回連続満点をとることにチャレンジします。

動物ボランティアで小さな命を救うことができました

私たちには人の命を救うことは難しいけど、動物の命を救うことはできるのではないかと思い、動物ボランティアをしています。



里親と迷子犬を探すポスター。殺処分されるところだった犬 2 頭を救出できました。



フリーマーケットのボランティアにも参加、10,028 円も募金ことができました。

私たちの通学路、地域だからこそ率先して清掃しています

私たちが登下校に利用している地域を、みんながより気持ちよく過ごせるようにしたいと本気で思ったので、毎朝 1 時間、地域の清掃を行っています。



地域の方に何度もお礼を言ってもらえてうれしかったです。中には、清掃活動を手伝って下さった方も！

ちょっと大変なこともあるけれど、できることから頑張っていきます！

冬の厳しい寒さで地域の清掃が進まないことや、“5 回連続で朝の小テスト満点！”を目指すも、3 回目の壁にぶつかり結果が出せないこともあります。この壁を越えるために、掃除なら防寒対策、テスト対策では予習といった出来ることから取り組んでいきたいと考えています。「東京の日経ホールで発表できるように、私たちのできるかぎりのことをがんばってがんばってがんばりたいと思います！！絶対にあきらめません！！！！がんばります！！！！」

“Comment”

サポーターの先生から一言

毎日、清掃活動をし、休みの日には、動物のボランティア活動をするなどがんばっています。また、活動記録を各自がノートに記録し、日々振り返りをするなど、継続するような楽しい工夫もみられます。それ以外にもグループ全員で小テスト満点を取ろうと目標を持つなど、違う場面でも積極的な活動がみられるようになりました。このチャレンジを通して、それぞれが主体的に行動し、「影響の輪」を広げることが出来ているように思います。

チャレンジ紹介

地球守り隊

中学3年生
開星中学校（島根県）



町のゴミ拾い、勉強会、そして壁新聞によるプレゼン、募金活動にチャレンジしています。

「影響の輪」をさらに 広げていきたい

昨年のチャレンジカップでも「地球守り隊」でエントリーしました。町のゴミ拾い、勉強会、そして壁新聞によるプレゼン、募金活動などをしました。その活動を続けていきたいと考え、今回もエントリーしました。今年は、地元のテレビ局にも働きかけて私たちの活動をより多くの方々に伝え、「影響の輪」を広げたいと思っています。



基本を大事にしながら、新しいことにも挑戦しています

「ゴミ拾い」は私たちの基本なので常に意識しています。また、壁新聞の作成は、さらにパワーアップさせてやっているところです。地元のテレビ局にも働きかけて、より多くの方々にメッセージを伝えられたらと思っています。また、東日本大震災復興のお手伝いも積極的にしたいと考えています。具体的には、募金で得たお金で文房具を買って現地の小学校へ送ったり、クラスに呼びかけてメッセージカードを作って送ったりしています。これからもできることがあれば、続けていきます。

私たちの強みは、「思いついたらすぐ実行！」

思いついたらすぐに実行！をモットーにしています。NPO法人テラ・ルネッサンスの鬼丸さんと出会って、すぐに「これだ！」と思い、募金活動をして、文房具を買い、東北の小学校におくりました。鬼丸さんは、普段は、ウガンダやコンゴ、カンボジアなどで地雷撤去作業の仕事をされています。今回の震災でもチームで現地に出向き「何かできること」を率先して行っています。そんな鬼丸さんのお手伝いが少しでもできればと思い、募金活動をして文房具をおくりました。できることはまだまだあると思います。「これだ！」と思ったら、これからはすぐに行動していきたいと思っています。

「チャレンジカップだからやる」ではなく「これからもずっと続けること」

私たちの取り組みは、チャレンジカップがあるからやる、というものではないと思うので、これからもずっと続けられたらと思っています。私たちはそろって開星高等学校に進学するので、これからも時間を見つけて集まることができると思います。「これだ！」と思ったらすぐに実行、の精神を忘れずに活動していたらと思っています。「地球守り隊」は永遠に不滅です！

“Comment”

サポーターの
先生から一言

彼女らのペースで頑張ってくれています。驚くのは「行動力」です。どこからそのパワーがでてくるのか、頭が下がる思いです。まだまだアイデアが出てくると思うので、ギリギリまで頑張ってくれたらと思っています。



募金、お菓子販売を行い得た売上を、東日本大震災被災地のために使うことを目標にチャレンジしています。

チャレンジ紹介

桔梗

高校 1 年生
修徳高等学校（東京都）



チームワークで
お菓子を販売、
一緒に設置した
募金箱も大活躍！

こんな思いを持って活動しています

震災後、私たちは不自由なく日常生活を送っていますが、被災地の方たちは震災から半年経った時点でも不自由な生活をしています。その皆さんの力になれないかと考えて、このチャレンジをすることに決めました。

最初の活動は、昨年 11 月の文化祭。 滑り出し好調でした！

お菓子を販売して売り上げを募金する予定でしたが、店頭
に置いた募金箱に思った以上に募金があり、お菓子の売り
上げと同じくらいの金額が集まりました。また、クラスで
役割分担したことによって、私達にしかできない素敵な思
い出が出来たという嬉しいこともありました。

集めた後に待っていた、地道な活動の壁

文化祭での活動までは順調でした。しかし、その後の募金
の送付先調べや募金活動の継続が思うように進まないとい
う壁を感じることもあります。

責任を持って募金活動を成し遂げるためにクラス全体で工夫をしています

募金を続け、そのお金をしっかり被災地に届けるために責任をもって活動できるよう工夫をしています。例えば、楽しいことだけをやったり、人任せにならないよう、責任を持って調べ物活動が進むように声掛けを行う、活動全体の進み具合を教室の黒板に書き出して、誰でも全体の状況がわかるようにし、忘れてしまうことが発生しないようにする、といった活動です。

今後は現在行っている募金活動だけではなく、ボランティア活動への参加などもできるようにしていきたいと考えています。

“Comment”

サポーターの
先生から一言

チャレンジ目標を決めたり、役割分担などを
するときには、臆することなく意見を述べ、
1 週間の間に少しずつでも前進していくこと
ができるメンバーです。期間はあわずかだ
ですが、限界突破できるようにサポートしてい
きたいと思います



チャレンジ紹介

bask

中学校 2 年生
桜の聖母学院中学校（福島県）



「福島市の写真集を作る」
「現在の福島についての記事を書く」
というチャレンジ活動をしています。



福島の良い、福島の人のがんばりを 福島に住む私たちが伝えたい

福島市の写真集を作りと現在の福島についての記事を書くことに取り組んでいます。原発事故で批判されている福島ですが、いい所で、みんな頑張っているということを知ってもらいたいと活動しています。

私たち自身も、福島の良いを たくさん、再発見しました！

福島県内の名所や名産品売りの写真を撮っています。今は、イルミネーションの写真や、景色を撮っています。今まで自分たちが知らなかったような、名産品や名所を知ることができました。みんなに福島の良いを知ってもらえるよう、全力で頑張ります！！

“Comment”

サポーターの
先生から一言

3・11の震災以降、地震、津波、原発事故、風評被害と様々な困難に直面している福島ですが、福島の良いところは変わっていません。そんな福島の良いをもっと知ってもらおうと、baskのメンバーが立ち上がりました。福島の良い、自然、名所、福島にしかないもの、そして、今福島で頑張っている人にフォーカスをあてて、紹介していきます。



チャレンジ紹介

HOTOKE

創成館高等学校（長崎県） 高校3年生



男2人、海峡目指して、九州の地を自転車で駆け抜ける

チャレンジ内容は、自転車で長崎から山口まで往復走ることでした。走破した距離は630km、2011年12月25日～29日という4日間に及ぶ旅です。長崎の創成館高校を出発し山口県の関門海峡に辿り着き、そこから折り返して創成館高校に戻る、というこの自転車の旅で、長崎に住んでる自分でも諦めずにやれば、どんな事でも達成できるという自信ができました。

事前の体力作りも、走行中のトラブルも、2人で共に乗り越えた旅

出発までの日々はトレーニングで体力作りをしていました。毎日6kmのランニング、腕立て100回、スクワット100回、つま先立ち200回、腹筋100回を毎日練習し、時には2人で片道約40kmある長崎県から佐賀県までの距離を走りました。

自転車の旅を始めてからは、途中で体調が悪くなってしまった時や、道に迷った時に2人で揉めごとになったこともありましたが、うまく2人で話し合っただけでゴールまでたどり着くことができました。

高校最後の思い出、社会人になってからも頑張る力の源になると思います

このチャレンジは、高校生最後の思い出を作りたいとトライしました。今年の4月から社会人になるので、辛い時にもこのチャレンジカップの事を思い出し、何事にも一生懸命頑張りたいと思います。

“Comment”

サポーターの先生から一言

長崎・山口間は車で移動するのも大変な距離です。部活動も文化部に所属していた2人が、強い思いからチャレンジを決めました。大きく自信貯金を貯めた2人の笑顔に、将来が頼もしく感じられました。



模試で5人全員の合計3000点満点中1000点以上を目指して、チャレンジ活動中

チャレンジ紹介

ゆかいななかまたち

高校1年生
豊橋中央高等学校（愛知県）

大学進学を意識して 模試の目標達成にチャレンジ！

ゆかいななかまたちのメンバーは、それぞれの大学進学目標を持って、日々授業や補習に励んでいます。今回は、「少しでも、それぞれの目標に近づけるように、みんなで協力しながら模試の成績目標を達成しよう」と思い、共同の目標を決めて学習に取り組むことにしました。

模試を受ける上での戦略を立て、 積極的に勉強していきたい

模試を受けるにあたってみんなで戦略を考え、計画をたてて活動しています。模試の分析をして、それぞれ何をどれだけあげるか計算しながら、苦手科目を教えあうなど計画を立てました。学校の定期試験もあるので、模試対策や復習にだけ集中することが難しいこともあります。補習の時間を上手に利用して対策するなど、今後の活動をより良くする方法を考えていきたいと思っています。



このチャレンジをクリアして、
それぞれ目標の「大学合格」を
手にするぞ！！

チャレンジ紹介

あやな

高校 1 年生
ITTO 個別指導学院ちはら台校（千葉県）

「アナウンサーになる」という将来の夢を叶えるために、成績目標達成と多くの人の前で話す力をつけるためのチャレンジを継続しています。

チャレンジカップで見つけた「夢」を今年も一途に追っています！

昨年のチャレンジカップでも「あやな」でエントリーしました。アナウンサーになりたいという夢をかなえるために、引き続き成績目標を達成するために活動を続けています。高校生になった今年は、志望大学合格のための学力をつけること、人前で話す機会を積極的につかむという2つをテーマにチャレンジをしています。

常に優先順位を考えて行動しています

高校1年の今から大学受験を強く意識して学習しています。アルバイトや遊びなどやりたい事もたくさんありますが、夢をかなえることを考えると、日々の予習復習が第一優先です。現在、学校の定期テストでは学年順位の1桁から10番前後というトップクラスを維持、最近では100点をとる教科も出てきました。また、話す機会のある役割には積極的に立候補しています。生徒会役員選挙で副会長に当選、英語スピーチコンテストでは学校代表になり、千葉支部で3位入賞といった結果を出すことができました。

もっと自分一人で勉強できる力を高めたい

チャレンジ中に難しいと感じるのが「自分の力で勉強する」ということです。私は喘息を持っているので、発作が出て学校を休まないといけず、授業の内容についていくのが難しいことがあります。後で学校の先生へ質問したり、友達にノートを貸してもらい、自習で問題を解くなど、追いつくための努力を徹底的にしています。しかし、それでもどうしてもわからないこともあります。その時はサポーターの岡野先生の力を借りますが、本当はもっと自分で解決できる力をつけたいと思っています。

チャレンジをするうちに、「自分のあり方」も意識するように

話す機会作りのために挑戦した生徒会役員ですが、役員になってみると、話すこと以外にも大事なことがある事に気づきました。みんなを代表して活動する生徒会役員にふさわしい人間としての必要な姿勢を身につけていかねばと思っています。以前は髪の毛を明るい色に染めていたのですが、そのようなことをやめるなど、役割にふさわしい姿を考えて行動するようにしています。

“Comment”

サポーターの先生から一言

あやなは本当に「自立」にこだわって活動していますので、私は、本人が本当に困った時に相談に乗る程度です。先生に頼らない！とその活動を私に秘密にしていることも多々あり、後から大きな成果を知らされて驚くこともしばしばです。活動の成果はもちろんですが、あやな自身の判断力、意欲のレベルアップにも脱帽です。去年もその成長に驚かされましたが、今年は、それをしのご成長を続けています。あやなの存在は、ちはら台校の多くの生徒達にも素晴らしい影響を与えてくれています。今年もあやなの違う姿を報告できるのではと思っています。

